

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和元年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立相模湖ふれあいパーク
指定管理者名	公益社団法人 相模原市シルバー人材センター
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
施設設置条例	相模原市立相模湖ふれあいパーク条例
施設の設置目的	市民及び相模湖を訪れる者の利便を図るとともに、市民と相模湖を訪れる者の交流及び憩いの場を提供する。(相模原市立相模湖ふれあいパーク条例第2条)
施設概要	相模原市緑区与瀬1183番地2 駐車場(自動車駐車場14台、月単位自動車駐車場7台) 駐輪場(月単位オートバイ26台、月単位自転車16台) 公園、公衆便所等 自動車駐車場開所時間(午前8時～午後8時、1月1日～1月3日まで休所)
施設所管課	緑区役所区政策課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	13,674	13,055	12,652				
利用料金合計(円)	4,108,414	3,855,016	3,543,491				
回転率	2.61	2.49	2.40				

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
C	回転率2.7の成果指標を達成した平成28年度以降、利用者数の減少傾向と同様に実績値が減少していき、回転率2.7の目標を達成できていない。一方、自動車の定期利用と自転車の定期利用(学生区分)は、昨年度の利用額を上回るなど努力の跡が見える。 今後は、コロナ禍により、集客イベントの実施について、感染防止を念頭に相当な注意が必要となるが、今年度も計画しているイルミネーションなど、更なる利用者の増加を目指した企画を考案、実施し、成果指標の達成を目指して欲しい。 【評価基準は、当該年度の達成度が80%以上90%未満のため、C評価】

指標1

指標名(単位)	回転率
指標式と指標の説明	年間延べ利用台数 ÷ (収容台数 × 営業日数)

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(単位)	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7		
実績値(単位)	2.6	2.5	2.4				
達成度(%)	96.3%	92.6%	88.9%	0.0%	0.0%		

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	さがみ湖やまなみイルミネーション事業に参画し、相模湖駅周辺の活性化に寄与するとともに、本施設の「憩いの場」としての側面をアピールしている。また、事業の記載はないが、一年草の植え付け、植木の手入れを行い、市民や相模湖を訪れる者を季節の花で出迎え、交流及び憩いの場を提供している。今後は、地域の活性化とともに駐車場の利用率向上を意識した事業を実施して欲しい。 【評価基準は、様式1記載の達成度が100%以上125%未満のため、A評価】

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
さがみ湖上祭	8月	花火大会の来場者の利便性を図るため、利用時間を延長した。	
相模湖やまなみイルミネーション	12月～1月	冬季の相模湖の誘客を促し、地域の活性化を図るため、実施した。	
刃物研ぎ		年度末に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により実施できなかった。	

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	目標値に対する達成度の評価はBとなったが、実績値は89%と利用者の約9割は満足しているといえる。平成9年4月開設の施設で老朽化が進んでいるものの、公園利用者から「綺麗」との声もあり、清掃がしっかりなされていると感じられる。一方、利用料金及び利用時間については、上限金額の設定など多くの意見があり、一考が必要である。また、駐車場精算機のゲートの対応についても考慮されたい。 【評価基準は、下記記載の達成度が90%以上100%未満のため、B評価】

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施 時期:令和2年2月10日から29日まで サンプル数:109名
目標値の基準	利用者の総合的な満足度の設問に対する「満足」と「概ね満足」の合計の割合

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0		
実績値（%）	96.4	81.1	89.0				
達成度（%）	107.1%	90.1%	98.9%	0.0%	0.0%		

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
意見箱	通年	駐車場の入り口の壁に意見箱を設置し、意見・要望を求めました。投函された意見等はありませんでした。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	<p>団体本体の経営状況に特段の問題はないが、施設の収支状況は全体収支がマイナスとなっていることから、B評価とした。</p> <p>神奈川県の入込観光客調査で確認できる「ふれあいパーク近隣の観光客数の減少」や、相模原市の人口統計で確認できる「相模湖地域の人口の減少」などマイナス要因が見受けられるが、利用時間の拡大、料金設定の変更など検討を行い、利用者の増加を目指し、施設運営の健全化に取り組んでいただきたい。</p> <p>【評価基準は、様式3の団体本体の経営状況が「特段の課題はない。」10点のため、B評価】</p>

施設の収支概要		直近3年間について記載			（円）
項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
収入（a）		8,077,058	7,765,016	7,562,755	
	指定管理料	3,910,000	3,910,000	3,986,480	
	利用料金収入	4,108,414	3,855,016	3,543,491	
	その他の収入	58,644	0	32,784	
支出（b）		8,314,198	7,934,345	8,065,257	
	人件費	5,395,928	5,262,447	5,489,499	
	本社管理経費	0	0	0	
	その他の支出	2,918,270	2,671,898	2,575,758	
本体事業収支【(a)-(b)】(c)		-237,140	-169,329	-502,502	
自主事業収入（d）		14,000	0	0	
自主事業支出（e）		26,049	0	0	
自主事業収支【(d)-(e)】(f)		-12,049	0	0	
全体収支【(c)+(f)】		-249,189	-169,329	-502,502	
備考					

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	履行管理に関するチェックシートを使用した現地調査、指定管理者へのヒアリング
実施時期	令和2年3月30日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 指定管理者の自己評価

収支については一時利用台数が前年度と比較し300台以上減少し、利用料金収入の減少につながり、平成28年以降毎年度赤字決算となっている。この要因として、県による入込観光客調査によると、ふれあいパーク近隣の相模湖公園の客数は平成27年は322,000人に対し、令和元年度では162,000人となっており、この間、減少をたどっている。また、相模湖地域の人口は、平成28年3月1日で8,498人に対し、令和2年3月1日で7,800人となっており、こちらも減少をたどっている。そうした中、ふれあいパークの駐車場は30分以内であれば無料で利用できるため、30分以内の利用は増加したが、それ以上の利用は減少した。相模湖駅周辺では空き地にコインパーキングが何か所も新設され1日500円程度で駐車することができ、長時間の利用であれば安価で利用できるためであると考えられる。

指定管理者として利用者の満足度を高めるとともに、刃物研ぎ事業を行い、地域にふれあいパークの存在をアピールして地域住民に親しまれる施設を目指すとともに、利用者が安全、安心して利用できるよう運営を行う。

9 所管課意見

成果指標は、目標を達成した平成28年度以降、利用者数の減少と同様に実績値が減少していき、令和元年度も目標値を下回る結果であった。一方、自動車の定期利用と自転車の定期利用(学生区分)は、昨年度の利用額を上回るなど努力の跡が見える。

施設管理においては、施設の老朽化が進んでいるものの、利用者の約9割が満足している状況は、指定管理者の清掃や接客等の日常業務が良いと考えられ、適切な施設管理の状況が窺える。

今後は、「ふれあいパーク近隣の観光客数の減少」、「相模湖地域の人口の減少」などマイナス要因が見受けられるが、「利用時間の拡大」、「料金設定の変更」など検討を行うとともに利用率向上を意識した事業を実施し、利用者及び利用料金収入を増加させ、施設運営の健全化に取り組んでいただきたい。

また、施設の老朽化に対する修繕費については、市で検討しているものの、財政状況を鑑みると厳しい側面もあることから、実施可能な事項の検討(駐車場精算機のゲートに係る職員による可能な時間帯での出庫補助など)をお願いしたい。

10 選考委員会意見

・利用者の高評価を維持するため、管理者の好意や努力による「一年草の植え付け」、「植木の手入れ」、「清掃」などに力点を置いて継続実施してほしい。

・この地域の駐車場利用者の「利用目的による顧客(利用者)のグルーピング」を行い、どのような料金・サービス時間体系なら利用者が何人増えるかを定量的に分析・検討し、改善計画を策定してほしい。

・施設の老朽化に対する修繕費については、修繕費の返還がないよう、可能な修繕は実施し、利用者サービスを向上してほしい。

総合評価(自動判定)

B

(55/100)

